



28th



**TOKYO INTERNATIONAL
LESBIAN & GAY FILM FESTIVAL**

NPO法人 レインボー・リール東京



レインボーリール東京(東京国際レズビアン&ゲイ映画祭)とは？①



●LGBTQ+コミュニティで最古のイベント

次回（2019年）で第28回目を迎える、日本のLGBTQ+コミュニティ最古のイベントの1つです。

LGBT+をはじめとするセクシュアル・マイノリティに関する映画を上映しています。
ドキュメンタリーからドラマ、あるいはエンターテインメントに徹したミュージカル作品まで、ジャンルや題材、国を問わず、優れた映画を世界中から幅広くセクションしています。

●日本で唯一無二の大規模LGBTQ+エンターテインメント

現在、世界中で多くのLGBTQ+フィルムが製作されておりますが、なかなか日本での上映機会に恵まれないものが大半です。
最近では、日本でも一般に劇場公開される作品も出てきましたが、残念ながら全体のほんの一部に過ぎないのです。
当映画祭では、世界中のLGBTQ+フィルムの中から優れた作品を選んで上映すると同時に、劇場公開されにくいドキュメンタリーや短編作品も紹介しており、映画ファンも楽しめるイベントです。

また、公開が決まった作品を特別先行プレミアとして、監督や出演者のトークやパフォーマンスを併せて上映する、独自の映画祭スタイルも定着してきており、大きな話題を集めています。

2015年には運営母体としてNPO法人レインボー・リール東京を設立しました。
それに伴い映画祭自体の名称を「東京国際レズビアン&ゲイ映画祭」から「レインボー・リール東京」と改め、セクシュアリティと文化活動の架け橋となるべく、一層励んでいます。



レインボーリール東京(東京国際レズビアン&ゲイ映画祭)とは？②

●あらゆる人々が参加し、「笑って、泣いて、さらに考える」お祭りです

当映画祭は、世界でも有数のセクシュアルマイノリティの映画祭でありながら、世界でも類を見ないシスジェンダー(※1)・ヘテロセクシュアル(※2)、老若男女に支持されている映画祭です。

映画祭調査の来場者アンケートでは、約1/3がヘテロセクシュアルの来場者です。また、原則として、参加年齢の制限も設けていません。セクシュアリティの壁を越え、老若男女あらゆる人が参加し、共に笑い、泣き、感じ、考え、楽しめるイベントになってます。

※1 生まれた時に診断された身体的性別と自分の性同一性が一致し、それに従って生きている人

※2 異性愛

●映像を通してLGBTQ+を可視化、LGBTQ+文化の楽しさを広めていきます

今日、日本でも自分のセクシュアル・アイデンティティを受け入れ、カムアウトする人が増えてきています。それに対する周囲の人々や社会の理解も急速に深まっています。

私達はその時にこそ、さらに多様なLGBTQ+の姿、ライフスタイル、家族や友達、社会との関係の様々なあり方を、映像を通して模索し、紹介していくことに大きな意義があると考えています。



第28回 開催概要

- 名称：第28回レインボーリール東京（旧 東京国際レズビアン＆ゲイ映画祭）
- 主催：レインボー・リール東京運営委員会 NPO法人レインボー・リール東京
- 期日：メイン会場 2019年7月12日（金）～15日（月祝） @スパイラルホール（350席・表参道）
サブ会場 2019年7月 5日（金）～ 6日（土） @東京ウィメンズプラザホール
（250席・表参道）
- 観客動員数：約5,000名（見込み）
- 内容(予定)：
 - ☆ セクシュアリティをテーマにした映画の上映
劇映画、ドキュメンタリー、短編集、公募作品コンペティション
 - ☆ 関連テーマのトークショーやシンポジウム等の開催
 - ☆ 上映作品の監督やキュレーターの招聘 など

スパイラル・ホール



ホワイエ



会期中はSpiralのビルに虹色の旗が掲げられます。



1. Webバナー広告
2. シネマアド（上映前広告映像）
3. ブースレンタル（委託販売可能）
4. チラシ折込
5. U22特割【新設】
6. ロゴパネル（フォトパネル） etc…

詳しくは、納品案内を兼ねた申込用紙（別紙）や、次ページのプラン・料金表をご覧ください。



↑第27回ブースレנטアル（一例）

←第27回ロゴパネル



↑第27回公式Webサイト・バナー表示部

↓第27回パンフレット（左；裏表紙、右：表紙）



プラン表

プラン	ゴールド	スタンダード	ライト
A. ウェブバナー掲載	サイズ大	サイズ小	サイズ小
B. シネマアド上映	15秒/全回	15秒/全回 または 全4日間	^
C. ブース出展	全4日間		-
D. チラシ折り込み	1000枚	1000枚	1000枚
E. U22特割	○	○	○
F. ロゴパネル	サイズ大	サイズ小	
G. 委託販売	-	-	-
料金	50万	25万	10万

料金表

A. ウェブバナー

サイズ大	¥200,000	■映画祭公式サイトトップページにバナーを掲載します。 ■サイズ大は固定表示、サイズ小はカルーセル形式での表示です。
サイズ小	¥50,000	

B. シネマアド上映

	15秒	30秒	1分	■映画本編上映前に広告映像を上映します。 ■著しく暴力的な表現、未成年に対して有害な影響を与える可能性のある表現についてはお断りすることがあります。
1プログラム	¥20,000	¥40,000	¥60,000	
5プログラム	¥60,000	¥120,000	¥200,000	
10プログラム	¥100,000	¥200,000	¥300,000	
全プログラム	¥150,000	¥300,000	¥500,000	

料金表

C. ブース出展

全日(4日間)	¥150,000	■スパイラルホールのホワイエにて、ブース出展用スペースをお貸しします。
土・日・祝のうち1日	¥50,000	■幅約180cmの平机1台、椅子2脚をご用意します。
初日のみ	¥30,000	■販売を行う場合は、当日売上の15%を頂戴します。

D. チラシ折り込み

1,000枚	¥30,000	■スパイラルホール入口にて、ご来場のお客さまへチラシを配布します。
--------	---------	-----------------------------------

F. ロゴパネル

大枠	¥200,000	■スパイラルホール上映会場入口に、ロゴを掲載したフォトパネルを設置します。
小枠	¥50,000	

E. U22特割

1口	¥30,000	■大学サークル等へ送付する案内へ企業・団体名を掲載します。 ■この協賛金は、22歳以下に500円で当日券を販売するU22特割(全5回程度が対象)の実施に使用されます。
----	---------	--

G. 委託販売

4日間	売上の35%	■スパイラルホールにて、当映画祭のスタッフが販売を代行します。
-----	--------	---------------------------------

- ☐ 別途消費税はかかりません。
- ☐ 各作品・プログラムへの個別のご協賛も承っております。ご相談下さい。

付録

第27回 実施データ：開催概要



名称：第27回レインボー・リール東京 ～東京国際レズビアン＆ゲイ映画祭～
(The 27th Rainbow Reel Tokyo ～Tokyo International Lesbian & Gay film Festival～)

日時：2018年7月7日(土)～8日(日) / 7月13日(金)～16日(月・祝) 全6日間

会場：東京ウィメンズプラザホール（東京都渋谷区神宮前5-53-67）
スパイラルホール（東京都港区南青山5-6-23）

動員数：約4500名

主催：レインボー・リール東京運営委員会 NPO法人レインボー・リール東京

協賛：青山ブックセンター本店／アフラック／アルファ ロメオ／LGBTファイナンス（J.P.モルガン／シティ／ドイツ銀行グループ／日興アセット
マネジメント株式会社／野村ホールディングス株式会社／バンクオブアメリカ・メリルリンチ／ブラックロック・ジャパン株式会社／ブルーム
バーグ エル・ピー／香港上海銀行 東京支店／ムーディーズ／モルガン・スタンレー／UBSグループ）／株式会社かんぽ生命保険／キャサロス／
KPMGジャパン／一般社団法人Get in touch／Circle／G-NOVELS／ソフトバンク株式会社／スピンドルプラス／株式会社 TOOT／東京都エイズ啓
発拠点 ふぉー・てぃー／9monsters／中村キース・ヘリング美術館／niji-depot／News Cafe ニュース カフェ／株式会社ビームス／不二ラッテ
クス株式会社／ミュージカル『プリシラ』／株式会社フレシネジャパン／保険のワンズピープル／ラブピースクラブ／世界のお茶専門店 ルピシア
／ミュージカル『RENT』

協力：Asia Pacific Queer Film Festival Alliance／有限会社 スタンス・カンパニー／東京国際映画祭／日本映像翻訳アカデミー(R)：English
Clock／株式会社 ワコールアートセンター

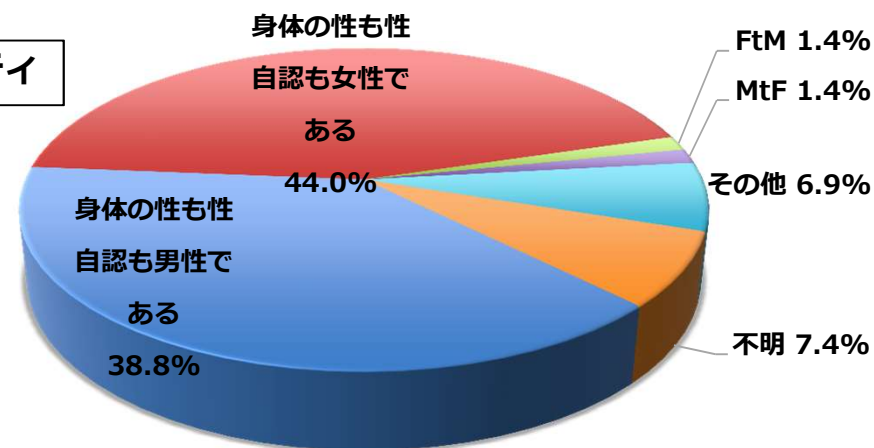
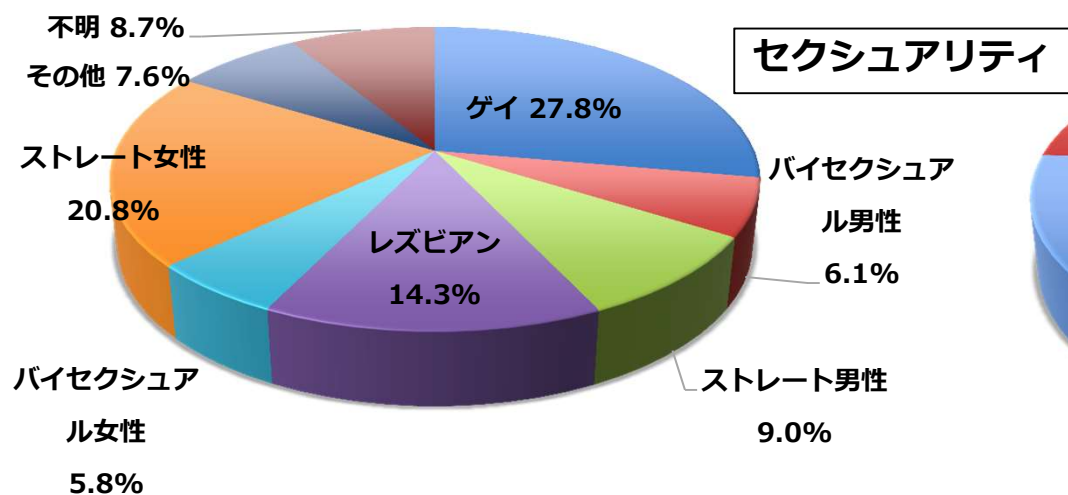
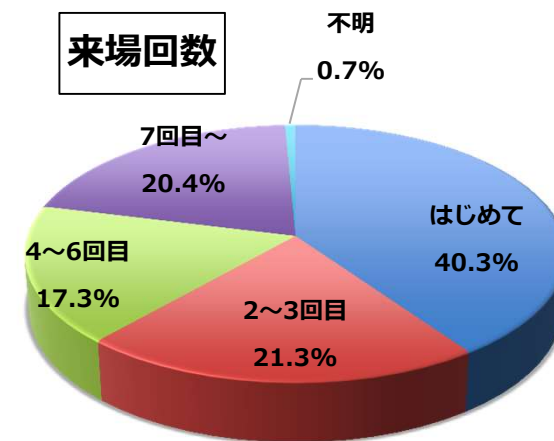
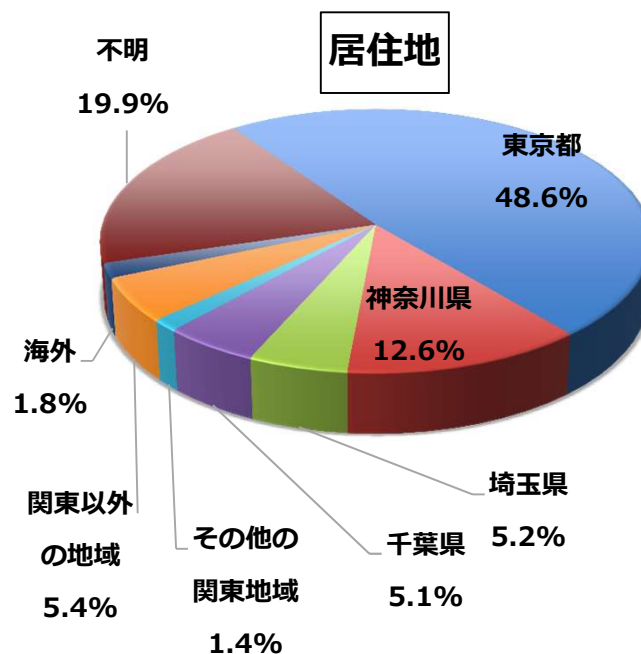
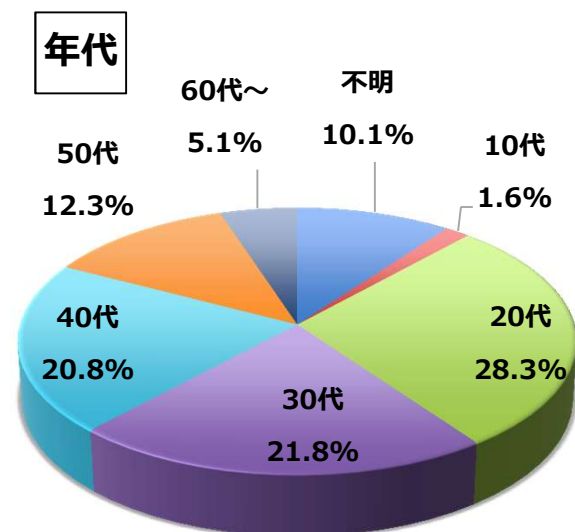
後援：アンスティチュ・フランセ / オーストラリア大使館 / オランダ王国大使館 / カナダ大使館 / ゲーテ・インスティトゥート 東京ドイツ文化
センター / 在日フランス大使館 / 日本ブリティッシュ・カウンシル / 米国大使館

■協賛ブースの当日の様子



第26回 実施データ：アンケート（来場者について）

回答数：554人



第27回 実施データ：Web関連

映画祭では、公式ウェブサイトを中心としたインターネットを活用して情報提供しています。細やかな情報や即時性の高い情報などはSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を利用して広く伝わるように活用しています。

今年は、初めて映画祭ホームページを訪れる人が増えており、新たに興味を持った人たちの広がりを感じます。

■公式ウェブサイト

<http://rainbowreeltokyo.com/2018/>

ユーザー数(2018年3月～7月)：4.4万人

アクセス数(同上)：7.6万セッション

端末内訳：モバイル 75.6%、PC 20.5%、タブレット 4%

■Twitter

@RRT_TILGFF

フォロワー数：8,084名(2018年9月1日現在)

■Facebook

@RainbowReelTokyo

いいね！数：3,294名(2018年9月1日現在)

フォロワー数：3,259名(2018年9月1日現在)

■Instagram

アカウント：@rainbowreeltokyo

フォロワー数：440名(2018年12月12日現在)

公式Webサイト

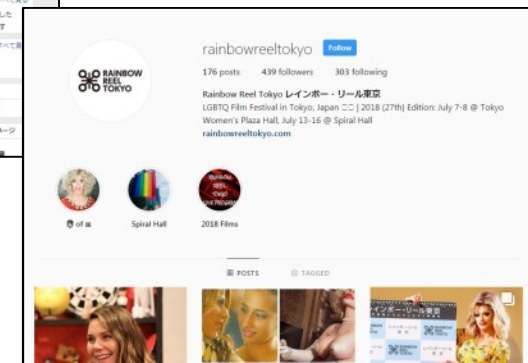


Twitter



Facebookページ

Instagram



第27回 実施データ：メディア掲載

今年もWEBメディアを中心に数多くの記事に取り上げられました。

- (at) nifty
- Infoseek
- ウェブダイス
- 映画秘宝
- eltha
- excite
- ORICON NEWS
- カナコロ
- 河北新報
- 紀伊民報
- g-lad xx
- 財經新聞
- ザ・サイン・マガジン・ドットコム
- The Japan Times
- SankeiBiz
- Cnet
- シネマトウディ
- Cinema Factory
- japan.internet.com
- CINRA.NET
- Zdnet
- ダイバーシティスタディーズ
- 中日新聞
- とれまが
- 新潟日報
- FILMAGA
- 北海道新聞
- 毎日新聞
- Mapion
- Yomiuri Online
- レインボーライフ
- 日本映像翻訳アカデミー 公式HP



第27回 実施データ：上映作品

- 『アフター・ルイ』 【英題】 After Louie 【監督】 ヴィンセント・ガグリオストロ 2017 | アメリカ
- 『アリフ、ザ・プリン（セ）ス』 【英題】 Alifu, the Prince/ss 【原題】 阿莉芙 【監督】 ワン・ユーリン 2017 | 台湾
- 『イッシュウガイ』 【英題】 liFeTiMe 【監督】 谷碧仁 2017 | 日本
- 『ヴィーナス』 【英題】 Venus 【監督】 エイシャ・マージャラ 2017 | カナダ
- 『移ろう季節の中で』 【英題】 In Between Seasons 【原題】 환절기 【監督】 イ・ドンウン 2016 | 韓国
- 『傷』 【英題】 The Wound 【原題】 Inxeba 【監督】 ジョン・トレンゴーク 2017年 | 南アフリカ、ドイツ、オランダ、フランス
- 『QUEER × APAC ～APQFFA傑作選2018～』
： 『言葉にできない』 『新入生』 『繭』 『ルッキング・フォー？』
- 『ゴッズ・オウン・カントリー』 【英題】 God's Own Country 【監督】 フランシス・リー 2017 | イギリス
- 『テルアビブの女たち』 【英題】 In Between 【原題】 Bar Bahar 【監督】 マイサルーン・ハムード 2016 | イスラエル、フランス
- 『虹色の朝が来るまで』 【英題】 Until Rainbow Dawn 【監督】 今井ミカ 2018 | 日本
- 『フリーランサーズ・アノニマス』 【英題】 Freelancer's Anonymous 【監督】 ソニア・セバスティアン 2017 | アメリカ
- 『プリンセス・シド』 【英題】 Princess Cyd 【監督】 スティーヴン・コーン 2017 | アメリカ
- 『レインボー・リール・コンペティション』
： 『HIV x LOVE ?』 『KISS』 『ギャルソンス 2つの性をもつ女』 『フリーダム』 『京』 『老ナルキソス』

第27回 実施データ：上映関連イベント

□ オープニングイベント

オープニング作品『ゴッズ・オウン・カントリー』の上映前に、女装パフォーマー／ライターとしてご活躍中のブルボンヌさんと、映画祭代表の宮沢英樹によるトークイベント・『ゴッズ・オウン・カントリー』のミニ解説が行われました。



□ 舞台挨拶

東京ウィメンズプラザホールで上映された『虹色の朝が来るまで』では、今井ミカ監督がと主演の長井恵里さん・小林遼さんが、

スパイラルホールで上映された『フリーランサーズ・アノニマス』ではソニア・セバスティアン監督が、

『イッシュウガイ』では、プロデューサーの丸若薫さん、企画・脚本の若林佑麻さんがご登壇され、舞台挨拶が行われました。



□ クロージングイベント

レインボー・リールコンペティションに続くクロージング作品「プリンセス・シド」の上映前には、オープニングイベントでも映画祭代表の宮沢と登壇していただいたブルボンヌさん、上映作品「フリーランサーズ・アノニマス」のソニア・セバスティアン監督によるトークイベントが行われました。



NPO法人 レインボー・リール東京

〒171-0033 東京都豊島区高田3-10-18 東ビル401

Tel:070-6475-0388

Fax:020-4666-6983

Web: <http://rainbowreeltokyo.com>